祝 令和８年 香美町二十歳のつどい

１月 11 日、香住区中央公民館で、二十歳の節目の年を迎えた皆さんの新しい門出を祝おうと、家族や来賓が見守る中、「令和８年香美町二十歳のつどい」を行いました。

今年の対象者は、平成 17 年４月２日～平成 18 年４月１日までの間に生まれた町内在住者および町内の小中学校・高校に在学したことがある人、計 165 人（香住区 111 人、村岡区 39 人、小代区 15 人）。このうち 133 人（香住区 89 人、村岡区 32 人、小代区 12 人）が、華やかな振り袖や羽織はかま、真新しいスーツを身にまとい式典に出席しました。式典前には、久しぶりに会う友人との再会を喜び合い、思い出話に花を咲かせたり写真を撮ったりするなど旧交を温めていました。

式典で浜上町長は「皆さんがここまで成長したのは、自分が苦しい時や辛い時でも、皆さんの事を思って毎日支えてきてくれたご家族のお陰です。心から感謝の言葉を伝えてください。また、この先、困ったことや一人では抱えきれないことが出てきます。そのような時は遠慮なく、いつでもふるさとを頼ってください。このたび、新たな一歩を踏み出した皆さんには輝かしい未来があります。柔軟で斬新な発想とエネルギッシュな行動力を、未来のために注いでくれることを期待しています」とエールを送りました。

その後、二十歳を代表して小林悠杜（はると）さん（香住区）と藤本あいりさん（小代区）が記念品を受け取り、山田峻大（しゅんた）さん（村岡区）が誓いのことばを述べました。

山田さんは「私たちの過ごしてきた香美町は今年度、私たちと同じく二十歳を迎えました。私は、香美町にたくさんの思い出があります。友人と一緒に登下校したこと、部活動で仲間たちと切磋琢磨し、自分たちを高め合ったこと、祭りで思う存分楽しんだこと、ほかにもたくさんの思い出が詰まっています」とこれまでのことを振り返りました。続けて、「私は共に生まれ、そして数多くの思い出を刻みながら育ってきた、この“こどもたちに夢と未来をつなぐまち”と一緒に二十歳を迎えられたことをうれしく思います。二十歳という節目を新たな出発点とし、この先訪れる、数えきれぬ困難から逃げることなく立ち向かい、前進していくことをここに誓います」と力強く決意を新たにしました。

誓いのことばを述べる
山田さん

浜上町長から記念品を受け取る小林さんと藤本さん

二十歳のつどい
おめでとうございます